

令和7年度東京都立中野工科高等学校（定時制課程）学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立中野工科高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員3名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務部主任)、主幹教諭（生徒部主任）、主幹教諭(進路部主任)、計6名
- (4) 協議委員の構成
近隣中学校長1名、地域消防署関係者代表1名、地域保護司関係者1名、地域代表1名、計4名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会

- | | | | |
|-----|-----|---|-------------|
| 第1回 | 日 時 | 令和7年6月12日（木曜日） | 16:00～17:00 |
| | 出席者 | 内部委員6名、協議委員4名 | |
| | 会 場 | 本校校長室 | |
| | 内 容 | 学校長挨拶、(委嘱状交付)、
委員紹介、学校運営連絡協議会の趣旨説明
評価委員の選出、評価委員長の決定
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題（副校長）
本校の現状と課題について（教務部、生徒部、進路部）
協議、意見交換 | |
| 第2回 | 日 時 | 令和7年10月23日（木曜日） | 16:20～17:00 |
| | 出席者 | 内部委員6名、協議委員3名 | |
| | 会 場 | 本校校長室 | |
| | 内 容 | 学校長挨拶
評価委員報告（学校評価のアンケート内容の検討、確認）
本校の現状と課題について（教務部、生徒部、進路部）
今年度の取組（副校長）
協議、意見交換 | |
| 第3回 | 日 時 | 令和8年2月5日（木曜日） | 16:20～17:00 |
| | 出席者 | 内部委員6名、協議委員4名 | |
| | 会 場 | 本校校長室 | |
| | 内 容 | 学校長挨拶
学校評価のアンケートの結果
本校の現状と次年度に向けた課題について（教務部、生徒部、進路部）
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議 | |

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

- | | | | |
|-----|-----|---|-------------|
| 第1回 | 日 時 | 令和6年10月23日（木曜日） | 16:00～16:20 |
| | 出席者 | 内部委員3名、協議委員1名 | |
| | 会 場 | 本校校長室 | |
| | 内 容 | 学校評価の基本方針の確認
昨年度の学校評価結果の分析と考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
今年度の学校評価の観点・項目 | |
| 第2回 | 日 時 | 令和8年2月5日（木曜日） | 16:00～16:20 |
| | 出席者 | 内部委員3名、協議委員2名 | |
| | 会 場 | 本校校長室 | |
| | 内 容 | 今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理 | |

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）														
(1) 学校評価の観点 「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。														
(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模														
・12月	全校生徒	対象：16人	回収：16人	回収率：100%										
・12月	保護者全員	対象：16人	回収：2人	回収率：12.5%										
・12月	教職員	対象：16人	回収：16人	回収率：100%										
(3) 主な評価項目														
昨年度と比較できるように、主要な評価項目は継続したものである。														
内容は、学校生活の充実度、授業改善、学校運営、生活指導、進路指導、特別活動、健康・安全、施設設備、ワーク・ライフ・バランスなど多岐にわたる。														
(4) 評価結果の概要														
・生徒の約8割以上が「学校生活に満足している」と回答しており、友人関係や授業に対する肯定的な意見が多く見られた。一方、給食形態の変更等の影響により、給食利用者は減少傾向であった。														
・保護者からは「安心して学校生活を送っている」という評価が多かったが、本校の教育内容や専門教科の取組については、十分に理解されていない部分が確認された。														
(5) 評価結果の分析・考察														
・生徒の学校生活をさらに充実させるため、基礎・基本を大切にしたい分かりやすい授業や、学校行事・特別活動の活性化を推進する必要がある。														
4 学校運営連絡協議会の成果と課題														
(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果														
・学校運営連絡協議会により、地域や関係機関との連携が一層深まり、本校の教育活動を広く発信する体制が整備されつつある。学校通信、ホームページ、SNSの活用により、情報共有が円滑に行われるようになった														
(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題														
・地域人材の活用をさらに推進し、防災教育・セーフティ教育・薬物乱用防止教育等の一層の充実が課題である。保護者や地域と双方向的な連携を拡充し、協働体制をより強固なものとする必要がある。														
5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項														
(1) 学校運営														
・生徒・保護者に対し、本校の教育方針や特色ある教育内容について説明する機会を増やし、理解の促進を図る。また、基礎・基本の定着を図りながら、多様な体験学習や専門教科を通じて、生徒が自らの適性を把握し、進路選択につながる学びを実現していく。														
(2) 学習指導														
・就職・進学に結びつく学力の基礎・基本を定着させる。														
・ICT授業を積極的に推進し、さらに使用回数を増やす。														
(3) 特別活動														
・年度当初に部活動紹介、体験等を実施し、部活動加入率を高める。														
(4) 生活指導														
・基本的な生活習慣を育成するとともに、規範意識をもった生徒を育てるため教職員一丸となって生活指導の徹底に努める。														
(5) 進路指導														
・4年間を見通したキャリア教育の全体計画を策定し、生徒の発達段階に応じた進路指導を行う。														
(6) 健康・安全														
・家庭とも協力して基本的な生活習慣が身につくように指導していくとともに、交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室等を引き続き実施して、健康な生活が送れるよう指導する。														
6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合														
(1) 協議委員人数 4名														
(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数														
<table border="1"> <tr> <td>そう思う</td><td>多少そう思う</td><td>どちらとも言えない</td><td>あまりそう思わない</td><td>そう思わない</td></tr> <tr> <td>4</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>					そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	4	0			
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない										
4	0													
7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果														
なし														
8 その他														
・協議委員に授業見学の機会を設けられるようにする。														
・学校評価アンケートの設問内容を検討する。														